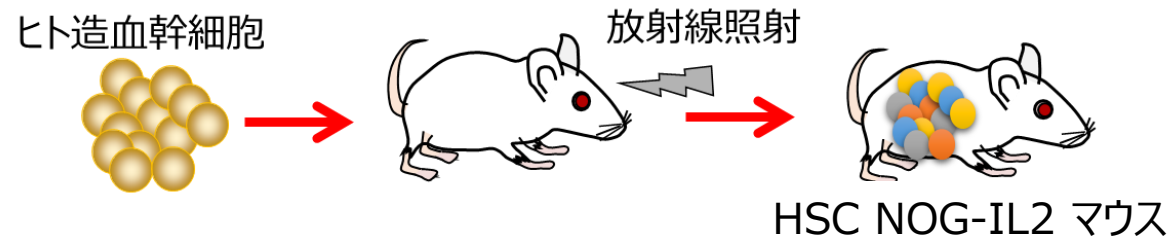


ヒト造血幹細胞 (HSC) 移植ヒト化 NOG-IL2 マウス作製方法



- 6週齢の NOG-IL2 マウスを購入し、納入後約 1 週間順化飼育します。
- マウスに X 線を照射し、マウス由来の骨髄細胞の一部を殺傷します。(お客様の施設で作製する場合、ブスルファンによる前処理でも実験可能です。)
- X 線照射24時間以内にヒト臍帯血由来造血幹細胞 (CD34⁺ HSC) 2~2.5×10⁴ 個を尾静脈から移入します。
- HSC 移入 11 週間後には、ヒト細胞が末梢血中に分化しています。
- この時点で、フローサイトメトリーにより、ヒト白血球の生着率を測定します。
- 事前にキメラ率のデータ (hCD45⁺細胞数/(hCD45⁺細胞数+mCD45⁺細胞数)) を提示いたします。
- オプションとして HSC 移入一週間で納品することも可能です。この場合のキメラ率の保証は致しかねます。
- ヒト造血幹細胞移植ヒト化マウスにつきましてはヒト由来材料を含みます。
- 細胞情報シートを事前に入手し、ご確認のうえ各機関のルールに従ってご使用ください。
(インビボサイエンスで作製したヒト化マウスの場合、細胞シートは弊社より提供させていただきます。)

➤ NOG-IL2 マウス、HSC 移植済みヒト化 NOG-IL2 マウスのご注文、ご質問など
弊社ホームページのお問い合わせフォーム、電子メールまたはお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。
お問い合わせフォーム：<https://www.invivoscience.com/contact/> E-mail：sales@invivoscience.com
Tel：044-201-8518